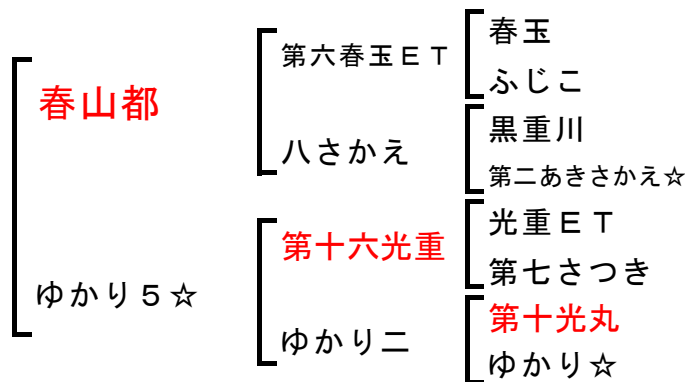


熊本県で開発した新技術

熊本県農業研究センター

2018

はるさつき 褐毛和種種雄牛「春五月」の選抜



問 研究のねらいは？

答 熊本県で昔から多く飼われている褐毛和種について、その牛肉の生産性・品質向上を図るため、優秀な種雄牛を選抜しました。

問 本牛の特徴は？

答 枝肉重量は平均500kgを超え、日齢枝肉重量が歴代最高。バラの厚さやロース芯面積も極めて優れた能力を持ち、「春山都」の後継牛として増体性の改良に期待できる種雄牛です。

【現場後代検定成績】

(単位:kg, cm², cm)

頭数	出荷月齢	枝肉重量	ロース芯面積	バラ厚	皮下脂肪厚	歩留基準値	BMSNo.	肉質等級(3等級以上)
去勢 9 頭	24.9	513.2	54.8	8.2	2.9	73.0	3.33	44.4% (4/9)
雌 5 頭	24.9	491.3	53.2	8.2	4.0	72.1	4.20	40.0% (2/5)

【産子の枝肉】



性別	雌
枝重	472kg
ロース	60cm ²
バラ厚	8.4cm
BMSNo.	8
等級	A-5

形質	程度	-1	0	1	2	3	4	程度	SBV
枝肉重量	小さい		[Bar chart showing high value]					大きい	3.27
ロース芯面積	小さい		[Bar chart showing high value]					大きい	1.63
バラの厚さ	薄い		[Bar chart showing high value]					厚い	2.54
皮下脂肪	厚い	[Bar chart showing low value]						薄い	0.15
脂肪交雑	少ない		[Bar chart showing high value]					多い	1.42

標準化育種価 (SBV) とは？

育種価(遺伝的能力)を明確化した数値
1を超えるとその特徴を持つといえる